

憧れた研修

竹松世紀

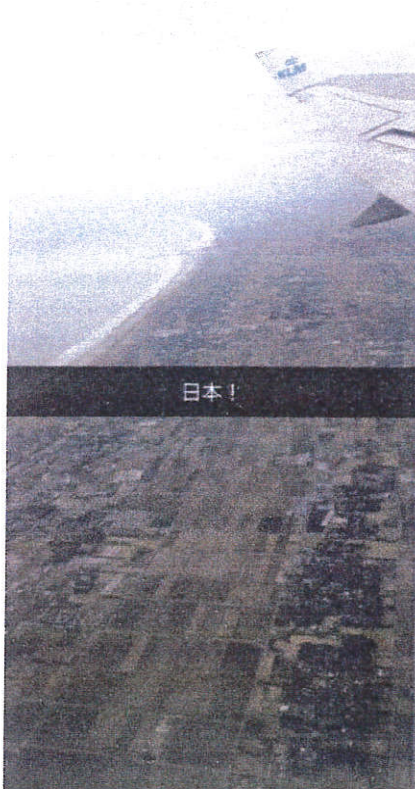
2016年1月4日にブラジルを出発して、6日に日系社会次世代育成研修に参加するために日本に着きました。10年前、2006年に僕の姉は中学校のプログラムに参加しました。そして、8年前に兄も参加出来ました。だから、僕はずっと兄弟からの話を聞いて「僕も行きたい!」という気持ちになりました。そして、ようやく僕の番が来てわくわくして、いろんな経験や体験出来ました。やっぱり、僕の兄弟達の言っていたとおり、忘れられない経験です。

1. 日本の第一印象

飛行中、となりの席の研修生、小川幸と話してきました。僕らの思った日本のこと、例えば「何したい?何見に行きたい?それは本当かな。」と言うことでいろんな話が出来ました。そして、成田空港に着いて僕は「ここは本当に日本ですか?」と自分に聞いていた。未だ日本にいたことが信じられなかった。飛行機を出た後に僕らはかばんを取りに行きました。そして、僕と他の研修生、上口ひでと先生達を待ちながら初めて自動販売機でなんか買いました。自動販売機で買ったことなかったので、どうやって買うのか分からなかったです。今は良く分かります。

空港を出た時にけっこう寒くって、美しい風景が見えました。ブラジルとくらべたらとても違う国だと感じました。皆はバスでホテルに行きながら話したり寝たりまどから眺めたりしました。皆いろんな国から来たから、あまり話さなかったです。

ホテルに着いて、部屋の番号を教えられて僕はパラグアイの人と一緒にになりました。長野こうたろう君でした。その後に、皆でJICAへ行きました。JICAで僕は初めて日本でトイレを使った時、日本のテクノロジーを感じました。すわる場所は、あたたかくておしりをあらう機械は、ウォッシュレットと言います。



2. 移住学習

移住学習について、たくさん学びました。例えば「日本の人がいつから移住を始めたか、どこに初めて行きましたか、どうして移住しましたか、移民はどんなことをすごしたか、先祖の大切さ、日系人であること」です。



その授業中に年表をつくったり、移住資料館へ行ったり、いろんな気にいった話を聞きました。この授業は面白くて、先生が一生懸命分かるように説明してくださったので、とてもありがたかったです。僕らの先祖が移住して来たから、今の生活を出来ているのです。「朝が来たから夜が来た」この文の意味を今良く分かっています。



この写真に写っている家は、アメリカに住んでいた日本人が作った物です。アメリカ人とその日本人の友好を表すために作られた物です。

3. 高校体験入学

高校体験をする日の前には、僕達は二つのグループに分かれて、その二つのグループは別の学校へいきました。そして、その日のために僕達は自分の国の発表を作りました。短い時間で15分の発表を作るのはとても大変でした。だから、ホテルにもどって夜ご飯を食べて22時から24時まで発表準備をしていました。そして、14日木曜日の朝に横須賀明光高校へいきました、皆フォーマルな服を着て、まじめな人に見えました。

学校は僕の思ってたイメージがだいたいありました。それは、学生は全員せいふくを着て学校の建物がでかくて変なチャイムもありました。学校に入った後にすぐ僕達はバディーと会いました。ちなみに、僕のバディーの名前はセシリアです。その後、教室に入って授業が始まりました。僕は授業のことがだいぶん分からなかったので、セシリアがたくさん助けてくれました。セシリアと彼女の友達はとても優しく楽しい人に見えました。僕にいつも話しかけてくれて授業中でも話していた。それに、一部の生徒達は携帯をさわったり寝たりしていました。それは、おどろいたことの一つで、僕は「ええ、日本の生徒も勉強が好きじゃないね。。。。」と思いました。昼ごはんの後に80人の前で発表をしました。その後にセシリアの家に帰りました。1時間40分ぐらいかかって電車とバスで帰りました。毎日のことで気づいたことは、日本の学生は小さい時からそんなことをしていて、もっと早くおとなになるような気がするし、車もあまり必要ありません。ぼくのバディーのお母さんは毎晩おいしい料理を作ってくれて、家族と一緒に食べながら話しました。ですから、僕は日本の家族の生活を肌で感じる事ができてすごく嬉しくなりました。次の日にバディーと彼女の友達と浅草や渋谷に行きました、とてもつかれたけど楽しかったです。ちなみに、セシリアの友達は女子ばかりだった。だから、高校の男子とぜんぜん話してないです。17日にわかれのあいさつをしました、皆の前で感謝の気持ちを伝えるに行った時ちょっときんちょうしましたが言いたかったことは伝えられたとおもいます。



まとめ.

この研修は僕が思ったより、すばらしかったです。僕の兄弟の気持ちがようやく分かりました。最初、みんなであつまった時には僕は「この研修に来て忘れられない思い出を作るつもりです。」と言いました。そして、その目的に達しました。今度、僕はここですごした経験を僕の町に持って、帰って僕の日本語学校と家族と友達に伝えたいと思います。ここで出会った研修生との作った絆を、これからもずっともって続けていきます。

この新しいプログラムに参加させて下さった、JICA、JOCA に感謝しています。この研修を進めてくれた、日本語学校の先生、JICAの授業を担当して下さいました先生やスタッフの方々にも感謝しています。